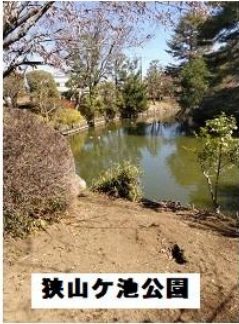


幾代会 観 察 会 (2023年4月) の ま と め

2023年4月 観 察 会 : 箱根ヶ崎駅…狭山ヶ池公園… さやま花多来里の郷 (昼) …耕心館 (山野草園)…富士山公園…箱根ヶ崎駅 (4km)



狭山ヶ池公園



五輪様の柿の木



さやま花多来里の郷

- 日 時 : 4月2日(日)
- 集合場所: 箱根ヶ崎駅 3 丁目バス停
- 集合時間: 10 時 15 分
- 観 察 場 所 : さやま花多来里の郷
- ポイント: カタクリと柿の木の巨樹を求めて

●ルート :箱根ヶ崎 3 丁目バス停～狭山池公園～さやま花多来里の郷

(お昼)～富士山公園～耕心館～箱根ヶ崎バス停 3 丁目(約4K)

●参加者 :浅井さん、中部さん、梅田さん、石川さん、武藤さん、大村さん、岡さん、宇津木さん、羽深さん、須崎さん、桜井さん(初)、越前の 12 名、下見 3 月 20 日 3 名

◆4 月の植物観察会のポイント

ホトケノザの戦略

ホトケノザは別名、三階草とも言われ花の下唇の模様はハチへの標識となり、ハチは花の内部に有る蜜を求めて飛んできます。又下唇は広いのでハチ等の訪問者の着陸場所に成ります。

ホトケノザには開花する花と開花しない蕾のままの閉鎖花があります。閉鎖花は上部がほっそりとしていて蕾の内部で雄蕊の葯から出ている花粉が雌蕊の柱頭につき自家受粉が行われ、出来た種は親の根元に落ちます。親と同じ性質を持った種はアリの餌の誘因物質であるエライオソームが少なく、アリによって遠くに運ばれることはありません。

開花する花の種はアリの餌である誘引物質が多いのでトビイロシロアリ等によって遠くに運ばれ、親から離れた新天地で芽を出し、ホトケノザは勢力を広げます。

カタクリの戦略

カタクリは種から発芽し花を付けるまでに 8 年もかかり、地上に出ているのは僅か 4-5 週間で、平均寿命は 40~50 年もあります。カタクリがこのような年間のサイクルで生活するのは春植物として生育するからです。春植物とは冬に落葉した森林では、早春にはまだ葉が出ていなく林床は日差しが十分に入ります。この明るい場所で花を咲かせるのがこの種の植物で、やがて樹木に新芽が出て、若葉が広がり始めると、次第に林内は暗くなります。この種の植物は、この光が十分にある間に、それを受けて光合成を行い、その栄養を地下に蓄えます。したがって、これらの植物は森林内に生育しているものの、性質としては日向の植物種になります。

◆散策路の植物



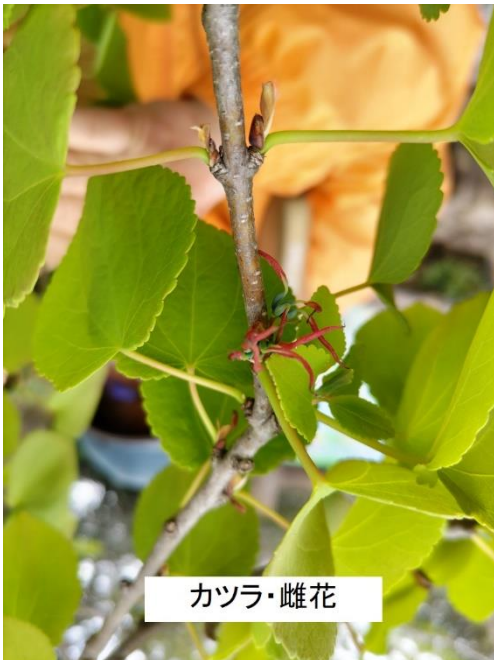
蛇喰い次右衛門由来碑

4月の観察会は箱根ヶ崎3丁目のバス停で初参加のSAさんや久しぶりのSさんの顔が見られ、参加者は12名と賑やかでした。まずは残堀川の源流である狭山池公園へおしゃべりしながら向かいました。入り口で蛇喰い次右衛門由来碑をIさんに読んで貰い「ふんふん、そっか～～です」

Oさんが「あっカツラ」池の傍に何とカツラの花弁が無い赤い雌蕊だけの雌花が咲いていました。

そして下にはバナナを小さくしたようなカツラの実の殻が落ちていました。

初めて見れてラッキー！！私は野草が無いかと下ばかりを見ていて大きなカツラにはトント気がつきませんでした。



カツラ・雌花



カツラの実の殻

残堀川の源流に向かうと幹周りが1m50cmぐらいの数本の立派なエノキが柔らかな若葉を展開、茂みからはねじれたような青い花を出したツルニチニチソウがアチコチからニョキニョキ顔を出し、チョコレート色のアオキも花盛り。こちらもカツラと同様に雌



雄異株で雄株は 4 本の雄蕊には黄色の葯が目立ちます。

対岸にはクサイチゴの白い花が点々と咲く。

池の周りには幹回りが50~60cぐらいの立派なカリン。樹皮が部分的に剥がれて、特徴的な模様が目立ち、ピンクの可愛い花を付けていました。

秋には直径10cを越える大きな黄色い実に成長します。

人家の庭先にはチョット変わった珍しい花。

チューリップに似ているけど葉が違うライラックワンダー。ハイビスカスの花と同じ構造ですが直径が3cぐらいと小ぶりのアニソドンテア・マルバストロイデス、何れも帰ってから調べた名前を教えて貰いました。とはいえトテモおぼえられません。

ほどなくして到着した本命のさやま花多来里の郷、カタクリの花が残っているかな～





カタクリ

～

さすがに 20 万球の花の山！種を付けた株も有りましたがまだまだ綺麗に咲いてくれました。

良かったヨカッタ。

3 つのテーブル付きベンチに分かれてお弁当を食べ、幾代会のお知らせを伝達。

食後は鑑賞用の宮崎テラスを通り園内をぐるりと一周しました。それにしても一面の溢れんばかりのカタクリです。振り返った花卉が下向きに咲き何とも魅惑的です。

ガイドさんは長い柄の付いた鏡を持ってカタクリの花の V 字型の模様を見せていました。下向きに咲くカタクリならではの素晴らしいグッズです。

次に向かったのは瑞穂町で天然記念物に指定されているの五輪様の柿の木。

途中の空き地で黄色い花を付けているイヌナズナと良く見る白い花のナズナを観察。

「あっ種の形が違う！」との声。イヌナズナはペンペンとはじく三味線のばちの形と違います。観察すると色々な発見が有ります。



五輪様の柿の木

柿の木は先端の枝が地面に着くほど垂れ

下がり樹勢が大勢で見ごたえが有ります。周りが公園なので 300 年と言わず、これからも元気に育ってくれますように！！

最後に訪れたケヤキ館の東屋で休憩しながらOさんに奄美大島の旅行記を披露して貰いました。奄美大島では毒蛇であるハブを退治するために外来種の雑食性のマンガースを導入しました。

マンガースはハブを退治しないどころか在来の希少種を捕獲し個体数を増やし続けました。これを教訓に奄美では「入れない・捨てない・広げない」がスローガンになったそうです、分かり易く教えて貰い有難うございました。



ケヤキ

皆さんも旅行記等が有れば、これからも披露してくださいネ。

瑞穂町郷土資料館けやき館の前庭にそびえる合体した2本のケヤキ！柔らかな新葉が展開し始め天に向かって清々しいです。小梢には直径50cmも有りそうなヤドリギが丸いボールのようについていました。

お隣の耕心館の野草園は駆け足で観察。

まあまあそれにしても色々なお花が咲いていますね。フィールドではなかなか見たことがないシラネアオイ・久しぶりのヤマシャクヤク・家の庭では絶滅したヤマブキソウを見ることができました。

ボランティアの皆さん、お手入れ有難うございました。野草園はあちこちに有りますが耕心館はパンフレットも有り、良く整備されています。



箱根ヶ崎3丁目バス停

箱根ヶ崎3丁目のバス停で記念撮影。途中で二人ほどアラアラの行方不明に成りましたが、無事合流でき予定のバスに乗って帰路に着けました。参加人数が多いときはグループ分けをしなければと反省です。(*- -)(*_)ペコリ。

案内板を読む等のお手伝いをしていただき、お世話様でした。おかげで植物を愛でながら楽しい春の一日を過ごせました。

初参加して貰ったSAさん、又参加してくださいね。

2023. 4. 6 越前記